月刊『皮膚科』投稿規定

＜編集委員長＞
佐藤伸一
＜編集委員＞
阿部理一郎　氏家英之　奥山隆平　門野岳史
神人正寿　菅谷　誠　多田弥生　長谷川　稔
藤本　学　本田哲也　森田明理　山本俊幸
（五十音順）

皮膚科領域に関する論文を募集します．執筆要領は次の各欄の投稿規定に従って御執筆下さい．

《原著・投稿規定》

1）オリジナルの研究および症例報告を主とし，他誌に掲載されていないものとする．
2）投稿原稿の執筆要領は下記の通りとする（原稿枚数は文献を含めた計算）．
研究　本文・文献は**8,000字以内**，写真・図・表**8個以内（組上がり6頁まで無料）**．
症例　本文・文献は**6,000字以内**，写真・図・表**6個以内（組上がり5頁まで無料）**．
なお，薬剤に関するPharmacology, Pharmacokinetics, Pharmacodynamics, Pharmacotherapeutics，または前臨床試験およびPhase I, Phase II, Phase III, Phase IVの臨床試験成績をまとめた論文は薬理扱いとし，**全頁有料**とする．
3）原稿はパソコンで横書きとし，専門用語は当用漢字，現代かなづかいを用い，句読点は正確に書くこと．なお，**プリントアウトした原稿とともに**，使用機種とソフト，ファイル名を明記した**本文テキスト・図・表の電子ファイルを同封**すること．
4）表題，著者名，所属は本誌の体裁にならって和英併記，また，必ずパソコンで400～600語の**英文抄録**を添付し，5項目以内の**Key Words**を英語で指定すること．
5）外国語の固有名詞（人名，地名）は原語のまま用いる．ただし，日本語化しているものはなるべくカタカナとする．商標薬品名®，その他の固有名詞の頭文字は大文字とするが，文中の外国語単語（病名，その他）の頭文字はドイツ語名詞を除きすべて小文字とする．
6）数字は算用数字を用い，度量衡単位はCGS単位で，m, cm, mm, cm^2, L, dL, mL, kg, g, mgなどとする．
7）写真，図，表には必ず**表題**（必要に応じて説明も）をつける．また，組織標本には染色法と倍率をつける．
写真は手札型以上の大きさで鮮明であること．なお，原寸大の製版を必要とする場合はその旨を明記のこと（21 cm×14 cmを限度とする）．写真は原則として白黒とする．カラー印刷希望の場合は**有料**（1点 5～10万円）となる．図のトレースを要するものはトレース料（1点5千～1万円）を申し受ける．**他誌より写真・図版を転載する場合は**権利者の許諾を得た上でその旨を明記する．
8）文献は本文に用いられたもののみをあげ，**引用番号**は本文の**引用順**とし，本文中の引用箇所には必ず**肩番号**を付すこと．また，文献の書き方は下記のように統一し，欧文雑誌の略名はIndex Medicusに従うこと．
＜雑誌＞著者氏名．題名―副題―．誌名　西暦発行年；巻数：起始頁．
＜書籍＞著者氏名．題名．書名．版数．　発行地：発行所名；西暦発行年．巻数．引用頁．編集書籍は，
邦文の場合は例4，欧文の場合は例11に従うこと．引用文献の著者氏名，編集者氏名は，**4名以内の場合は全員書き，5名以上の場合は3名連記の上－**，ほか，あるいは－，et al.とする．文献の表題は，副題を含めて**フルタイトル**を記すこと．学会発表の抄録を引用するときは表題の最終に［会］，欧文発表の場合は［abstract］とすること．その他，以下の例に従って誤りのないよう注意すること．文献規定が守られていなかったり，引用の誤りがあるときは，**採択されないことがあるので十分注意すること．**

例　1）山崎小百合，森田明理．皮膚の恒常性維持と制御性T細胞．臨床免疫・アレルギー科 2021；75：584.
2）高藤　繁，大利隆行，伊藤幸治，ほか．気管支上皮細胞存在下における好酸球の脱顆粒［会］．アレルギー 1994；43：1057.
3）古川哲雄．ヤヌスの顔．東京：科学評論社；1992. p. 107.
4）牧野荘平．アレルギー性疾患の理解．広瀬俊一・編．解説臨床免疫学．東京：科学評論社；1987. p. 302.

5) Qunicke H. Ueder Lembalpunction. Berl Klin Wochenschr 1895 ; 32 : 861.
6) Buchthal F. Electrophysiological abnormalities in metabolic myopathies and neuropathies. Acta Neurol Scand 1970 ; 46（Suppl 43）: 129.
7) Casiaigne P, Escourolle R. Éde topographique des lésions anatomiques dans les hypersomnies. Rev Neurol（Paris） 1967 ; 116 : 547.
8) Lam S, Wong R, Yerng M. Nonspecific bronchial reactivity in occupational athma. J Allergy Clin Immunol 1979 ; 63 : 28.
9) Gubbs CJ Jr, Gajdusek DC, Asher DM, et al. Creutzfeldt-Jakob disease（spongiform encephalopathy）. Transmission to the chimpanzee. Science 1968 ; 161 : 388.
10) Carpenter MB. Human Neuroanatomy. 7th ed. Baltimore : Williams & Wilkins ; 1967. p. 49.
11) Lumsden CIE. The neuropathology of multiplesclerosis. In : Vinken PJ, Bruyn GW, editors. Handbook of Clinical Neurology. Amsterdam : NorthHolland ; 1970. vol. 9, p. 217.

9) 投稿される論文の内容に関して利益相反（COI）がある場合には，論文末尾にその旨を明記する〔「日本医学会 COI 管理ガイドライン」（https://jams.med.or.jp/guideline/index.html）に準拠〕．また，企業が共著者として関与している場合は，当該企業の研究への関与・役割（資金提供，データ解析，原稿作成支援など）についても明記すること．投稿論文における倫理的配慮として，平成16年4月6日外科関連学会協議会公表の「症例報告を含む医学論文及び学会研究会発表における患者プライバシー保護に関する指針」を遵守することとする（https://www.kahyo.com/guidelines/patient-privacy）．
10) First author には掲載誌1部を無代進呈する．別刷を希望する場合は**50部単位**で**実費**作成するので，著者校正の際に申込むこと．
11) 刷上がり項が一定限度（研究6頁，症例5頁）を超える場合は**超過料金**（1頁1万円）を著者負担とする．
12) 欧文の原稿は受けつけない．ただし外国人投稿者の場合は必ずしもこの限りでない．
13) 投稿論文の採否は編集委員会が行い，不採用論文にはコメントをつけて直ちに返送し，採用論文の原稿は著者校正のとき同封して返却する．
14) 掲載を急ぐ場合は特掲制度を利用すること．
15) 原稿は書留郵便で〔〒101-8531 東京都千代田区神田司町2-10-15 **科学評論社「皮膚科」編集委員会**〕宛に送ること．なお査読の都合上，原稿のコピー**1部**を必ず同封すること（郵送中における紛失などに対処するため，投稿論文のコピーをお手許にも保存するようにすすめる）．投稿は当社WEBサイトからも受け付けている（https://www.kahyo.com/contribution）．

《Brief Clinical Notes・投稿規定》

原著・投稿規定に準ずるが，以下の点が異なる．

1) 本欄は，研究および症例報告に限る．かつ，他誌に掲載されていないものとする．**Originalityの高い速報もしくは予報的な報告を目的**とする．本欄に掲載された後に，同じ内容の原著は本誌では採用しない．
2) 執筆要項は次の通りとする．本文・文献は**2,800字以内**，写真・図または表は計**2個以内**（**組上がり3頁まで無料**）．
4) 英文抄録は不要，他は同じ．

《総説・投稿規定》

原著・投稿規定に準ずるが，以下の点が異なる．

1) 本欄は，皮膚科学上の問題について最近における内外の知見を総説的に記述したものとする．著者の原著報告であってはならない．
2) 執筆要項は次の通りとする．本文・文献は**16,000字以内**，写真・図・表は計**8個以内**（**組上がり15頁まで無料，ただし薬剤に関するものは有料**）．
4) 英文抄録は不要，8項目以内の**Key Words**を英語で指定すること，他は同じ．

《皮膚薬理・投稿規定》

原著・投稿規定に準ずるが，以下の点が異なる．

1) 本欄は，皮膚疾患の治療薬や検査薬のPharmacology，Pharmacokinetics，Pharmacotherapeutics，または前臨床試験およびPhase I, Phase II, Phase III, Phase IVの臨床試験成績をまとめた論文とする．
2) 執筆要項は次の通りとする．本文・文献は**20,000字以内**，写真・図・表は**20個以内**．**英文抄録**，**Key Words**は必ず原著投稿規定に従って添付すること．掲載を急ぐ場合は特掲制度を利用すること．
11) 本欄掲載論文に限って**特別掲載扱いかつ全頁有料**とする．

《記録・投稿規定》

原著・投稿規定に準ずるが，以下の点が異なる．

1）本欄は，皮膚科学に関する研究会や検討会・討議会，座談会などの内容を記述したものとする．
2）執筆要項は主催者の方針に従う．**Key Words**，英文抄録は不要．
4）会名は和英併記．開催日時，開催場所は必ず記載する．開催後1年以上経過したものは受けつけない．
11）本欄は**全頁有料**とする．

《原典・古典の紹介・投稿規定》

原著・投稿規定に準ずるが，以下の点が異なる．

1）本欄は，皮膚科学上の古典・原典（疾患・徴候・症候群・検査所見・病理所見・治療法・その他）を紹介し，解説を加えた論文とする．
2）執筆要項は次の通りとする．本文・文献は**6,000字以内**，写真・図・表は**3個以内（組上がり5頁まで無料）**．写真・図・表は**なるべく原典・古典そのものからの複写**を用いること（必ず出典を明記）．
4）英文抄録，**Key Words**は不要，他は同じ．
8）文献の書き方は文献投稿規定に準ずるが，雑誌の場合には，著者（全員）．題名．雑誌　西暦発行年　発行月または月日；巻（号）：起始頁-終頁．のように**完全なもの**とする．

例　1）West WJ. On a peculiar form of infantile convulsions. Lancet 1841 Feb 13 ; 1（991）: 724-5.
　　2）呉　秀三．トムゼン氏病の一種．東京医学会雑誌 1892 June 5 ; 6（11）: 205-14.

《人・土地・業績・投稿規定》

原著・投稿規定に準ずるが，以下の点が異なる．

1）本欄は，皮膚科学上の傑出した内外の人物の伝記やその業績，ゆかりの深い土地，研究所，病院等について読者に紹介することを目的とする．
2）執筆要項は次の通りとする．本文・文献は**8,000字以内**，写真・図・表は**10個以内（組上がり6頁まで無料）**．
4）英文抄録，**Key Words**は不要，他は同じ．

《眼で見る皮膚科・投稿規定》

原著・投稿規定に準ずるが，以下の点が異なる．

1）本欄は，皮膚科学上の**典型的な写真**（患者の症候，X線，CT，MRI，超音波，内視鏡，血液像などの検査所見，解剖所見，組織所見，その他）の呈示を主な目的とし，それに**簡単な解説**を加えたものとする．したがって，研究原著または症例報告の形式はとらないこと．
2）執筆要項は次の通りとする．写真（原則として白黒写真）は **1～4個**，本文（解説）は文献を含め，**1,600字以内（組上がり3頁まで無料）**．
4）英文抄録，**Key Words**は不要，他は同じ．

《数字で見る皮膚科・投稿規定》

原著・投稿規定に準ずるが，以下の点が異なる．

1）本欄は，皮膚科学上の種々の統計，頻度などを**数字**や％によって表示することを主な目的とし，それに**簡単な解説**を加えたものとする．なるべく内外の統計を並記した形式が望ましい．他の著者の表を引用する場合には必ず出典を明記すること．
2）執筆要項は次の通りとする．表は**8個以内**，本文（解説）は文献を含め，**3,200字以内（組上がり4頁まで無料）**．
4）英文抄録，**Key Words**は不要，他は同じ．

《Letters to the Editor・投稿規定》

原著・投稿規定に準ずるが，以下の点が異なる．

1）本欄は，日常の診療・研究活動上得られたヒント，思いつき，発見!?，反省点，誤診しやすい盲点，薬の副作用など，また，本誌に掲載された論文に対する各種の意見（追加，討議，反論など）を**書簡の形式**（口語体）で書いたものとする．将来，文献として引用価値のあるものを採択する方針である．
2）執筆要項は次の通りとする．**1,200字以内（組上がり1頁まで無料）**とし，写真・図・表はなしとすること．
4）表題，投稿者名は本欄の体裁にならって和英併記のこと，英文抄録，**Key Words**は不要，他は同じ．